

事業名 : 演劇学生のためのシェアハウスを活用した地域活性化事業

団体名 : EBARA_101

1 事業内容

日時 2023年9月14日～9月24日（主な活動日）

場所 江原101

内容 豊岡演劇祭会期中のミーティングスポットの運営とワークショップやトークイベントの企画運営

【事業経過】

月日	実施内容	場所	参加人数
8月15-30	豊岡演劇祭事務局との打ち合わせ、地元商店との打ち合わせ、控室利用する近隣空き家の掃除、チラシ作成、宣伝活動など	江原101	各日5～10人
9月14-24日	豊岡演劇祭2023ミーティングスポット	江原101	のべ897人
9月18-20日	豊岡演劇祭2023地域連携企画の実施	江原101	のべ82人
9月24-10月	片付け、関係各所への報告、発信等	江原101	各日5～10人
11月27日	反省会、振り返り会	江原101	12人

2 事業の効果

(1) 団体（組織）内の効果

演劇祭の期間を利用して、活動場所を半公共的に開くという実証ができた。

外部のアーティストや地域の事業者に関わってもらうことで、活動場所の魅力やメンバーそれぞれの能力をあらためて認識し、高めあうことができた。

共同通信の取材もあり、活動内容について記事として発信いただくことができた。

(2) 地域への波及

演劇祭に興味がない地域の人にも、ミーティングスポットに興味を持ってもらったことをきっかけに交流することができた。実施に向けて、事業外でも団体のメンバーがお祭りに参加したり行事を協力して運営する機会ができた。そのことで、本事業にも足を運んでもらうことができた。

会期中には三菱地所や森ビルなど大手のデベロッパーも視察に来て、多方面に活動を発信することができた。

また、期間中は江原101をフル活用することになったので、控室が別途必要となったところ、オーナーさんのご厚意で付近の空き家をお貸しいただけることとなり、メンバーで大掃除を行った。空き家は1年以上買い手がついていなかったところ、この期間に利用したこともあってか買い手がついた。

3 協働の相手方

・豊岡演劇祭実行委員会

主催したワークショップ企画を地域連携企画として位置付けてもらい、公式ウェブサイトやタイムスケジュールに情報を掲載いただいた。江原101はミーティングスポットとして位置付けられ、アーティストやお客さん向けのサービスも提供するという連携をとった。また、フリンジプログラムや、プロデューサートーク企画の受け入れも行った。

・芸術文化観光専門職大学

ミーティングスポットの運営等を大学の実習として位置付けてもらい、先生方の協力を得ることができた。また、学生が所属するゼミの教授とのタイアップ企画なども生まれた。

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

学生メンバーが入れ替わっていく際の引き継ぎに対して、検討会議を続けている。
豊岡演劇祭への来年度の関わりについては、実行委員会や大学と調整を図っている。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

お祭りや地域行事との連携や、自主企画の開催などを検討している。
大学や振興局とも地域活動についての協議をしている。



5年9月14日 演劇祭初日



5年9月17日演劇祭プロデューサー連携トーク企画



5年9月18～20日 ワークショップ企画



5年9月22日 トーク企画